

やましん歌壇掲載歌＜第17回＞

短歌	掲載短歌	平成26年3月～平成31年4月	令和1年5月～
		H29年3月：いつからか知己の名探す「おくやみ欄」 思い湧きいづわが名の載る日（＊）： 井上管子選（筆頭二席） 選評：歌に詠んだことはないが同じ思いをしたことがある。という人は多いはず。知己の名探すからわが名の載る日までの軽やかな調べに、重い内容が救われる。	R3年4月：名を刻す指輪で特定されし友 散りし砂漠禍祈る十回忌：佐藤幹夫選
		H29年3月：行き暮れて辿りつきたり道の辺の コンビニにはや夕光は射す：阿部京子選	R3年4月：健診日謝りてなおわが腕に 三度の針射す新人看護師：井上管子選
			R3年4月：亡き母の形見の日記に挿まれし 彼岸の兄の記事の懐かし（＊）：大滝 保選
共同制作の写真短歌（＊）&写真短歌（＊）&短歌	＊…他人の写真に自身の短歌も短歌も自身の作品		
作品	短歌	下記の写真短歌の短歌を含めて86首	下記の写真短歌の短歌を含めて106首（令和7年7月まで）
	写真短歌	38作品（自身の作品：37＋共同制作：1）	74作品（自身の作品：51＋共同制作：24）